



質問
項目

- ① 不登校・ひきこもり
- ② 困難を抱える市民の支援
- ③ 災害時の要配慮者
- ④ 自然環境保護

今回の質問では、不登校や大人のひきこもり、難病患者など、当事者の方々からの聞き取り調査などの結果を踏まえて、必要な施策の提案を行いました。

具体的な施策について質問を行っていったため、取り組みを検討する内容が多くありました。これらについては今後の質問でも取り上げ、進捗を確認していきます。

市としての難病患者の支援

質問

難病患者の方々には、就労における困難を抱えている方も多いとされている。市としても、**埼玉県**の難病患者就職サポーターについて周知が必要であると考えが見解は。

答弁

難病患者就職サポーターは、ハローワーク浦和に設置され、県内のハローワークを巡回し就職の支援を行っている。**難病患者就職サポーターの周知**については検討をしていく。

質問

市として改めて難病患者の方々の支援について検討しなおすとともに、**自治会や自主防災会**などと認識を共有するためにも**マニュアル**を作成する必要があると考えがいかか。

答弁

障害者支援法に基づく支援が可能である。マニュアルについては、県で作成しているマニュアルを参考に、**避難所運営マニュアル**に反映し、自治会などとの認識の共有に努めていく。

開庁時間外の相談受付

働く人のためにも夜間や休日の受付をすべき

質問

市の相談事業について、特にひとり親世帯で開庁時間に相談することが困難な市民が多いことを踏まえて、**開庁時間外に問い合わせができることを周知すべき**と考えが見解は。

答弁

各相談窓口所管課のホームページや広報誌の相談窓口紹介コーナーにおいて、**メールアドレス**についても可能な限り記載するよう関係各課と調整していく。

立位保持が困難な方の検診

胃がん検診の個別検診に助成が必要

質問

乳がん検診については助成が行われることとなった立位保持が難しい方々への個別検診への支援について、**胃がん検診についても助成が必要である**と考えが見解は。

答弁

令和2年11月に上尾市医師会との間で、胃がん個別検診実施検討会を開催した。今後も引き続き検討会において課題について整理していきたい。

その他の質問は、**上尾市議会スマート中継**をご覧ください。

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/ageo/WebView/>

えびはら直矢プロフィール

昭和 62 年 12 月 3 日生まれ。

●上智大学法学部卒

●首都大学東京社会人類学教室修了。

国連 UNHCR 協会職員などを経て、衆議院議員公設第一秘書を務める。

大学在学中に市民団体を設立し、現在子どもたちの放課後を考える団体や演劇教育を推進する団体など複数の団体の運営に携わっている。2017 年に上尾市議会議員に当選(現在 2 期目)。議会運営委員会副委員長。

家族:妻、長男(5 才)、長女(4 才)、次男(3才)

市政へのご意見やお困りごとがございましたらお気軽にご連絡ください →FAX 048-677-1676

お名前

ご連絡先

ご意見(市政報告会にご参加いただける方は「報告会」とご記入ください)

えびはら直矢市政報告

発行人 海老原直矢

〒362-0026 上尾市原市北一丁目14番地9 TEL. 048-716-7323

E-mail. ebihara116@gmail.com <https://www.ebihara-naoya.com/>

2021年4号
2021.7.1



学校統廃合検証のため特別委員会を設置

市議会として『上尾市学校施設更新計画基本計画』の内容について検証

6月定例会最終日の6月28日、議長発議で『上尾市学校施設更新計画基本計画調査特別委員会』が設置されました。委員長には私たちの会派から鈴木茂議員が就任しました。

この委員会は、議長を除く議員全員が委員となり、かねてより議論となっている学校統廃合や小中一貫校の導入などを含む上尾市学校施設更新計画基本計画について、その人口推計やコストシミュレーションの内容、公共施設マネジメントに基づく施設の削減方針の妥当性などについて議会として検証するものです。

学校の統廃合は教育だけでなくまちづくりや防災など様々な観点から検討が必要な問題であり、議会としてもしっかりとした検証が必要であるという視点から会派として設置を呼びかけ、各議員の方々の賛同を得て設置に至りました。ぜひ、皆さんのこの問題に対するご意見もお聞かせください。



学校施設更新計画基本計画

https://www.city.ageo.lg.jp/uploaded/life/277586_662728_misc.pdf

経費削減の方針のもとに小中学校を3割以上削減

今回の基本計画は、公共建築物の総量縮減を原則として示した『上尾市公共施設等総合管理計画』の下位計画であり、この計画では更新などの経費を35%削減することを掲げていることから、統廃合案も「35%のコスト削減」を前提として検討を行った結果であり、そもそもこの前提が妥当かの検証が必要です。

小学校 22校→13校		
原市	尾山台小	2027年までに尾山台小、原市南小を統合、2035年までに瓦葺小を含め、原市南小学校に新校設置。
	原市南小	
	瓦葺小	
大石	大石南小	2029年までに大石南小を大石小と統合。
	大石小	
上平	上平小	2034年までに上平小に上平北小を統合。
	上平北小	
上尾 大谷	富士見小	2030年までに鴨川小を富士見小に統合。
	鴨川小	

中学校 11校→7校		
原市	瓦葺中	統合校の卒業児童が通う新設中学校を尾山台小学校敷地に設置し、2032年までに開設。
	新設中学	
大谷	南中	2033年までに南中を大谷中に統合。
	大谷中	

小中一貫校 2校		
原市	原市中	2030年までに(仮)原市小中一貫一体校として開設。
	原市小	
平方	太平中	2030年までに平方小、平方東小を統合、2032年までに平方北小と太平中を含めた(仮)平方小中一貫一体校を開校。
	平方東小	
	平方北小	
	平方小	

基本計画の巻末資料で示された統廃合の対象となる小中学校



『市民と議員の共同政策』 進捗発表会 + 市政報告会

「市民の声あげお」としてお示した共同政策について現時点での進捗をご報告するとともに6月議会などについてのご報告を行います。

8/7 (土)

午前10時から

文化センター
302集会室

お申込みはメールもしくは裏面のFAXにて

▶ebihara116@gmail.com

※お名前、ご連絡先をお知らせください。